



秋田大学教育文化学部附属小学校 校報

# はとの子だより

No.10 令和6年2月22日(木)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

## 野球しようぜ！ ～大谷翔平選手ありがとう！～



冬季休業が明けてまもなく、子どもたちが待ちに待ったあのグローブが届きました。

大谷翔平選手からの贈り物です。

1月末に、全校でお披露目する集会を開き、大谷選手からのメッセージを聞いたり、野球スポーツ少年団の団員によるデモンストレーションのキャッチボールを行ったりしました。

運動委員による演出の工夫もあって、アリーナが興奮に包まれた15分間でした。

現在、全学級をお披露目行脚している3つのグローブですが、来年度、春の到来とともに、活用の仕方について提案が行われる予定です。それまで、各学級で眺めたり触ったりしながら、夢を膨らませているところです。

## 巣立つはとの子に心を込めて

2月に入り、異年齢集団によるわくわく班の活動が活発になってきました。

5年生が陣頭指揮をとり、6年生抜きで活動する初めての機会です。

「6年生ありがとう集会」までに、一人一人の先輩に、心を込めた帽子を贈呈しなくてはなりません。これは、附属小学校に30年以上続いている伝統です。かつては、各グループがそのスケールや派手さを競うようにして作っていましたが、最近では、その先輩の好きなことやこだわっていることをインタビューして装飾に生かしたり、先輩へのメッセージカードを貼り付けたりして、喜んでもらおうとしています。

作成途中の帽子を見ながら、「これは誰に渡るんだろう？」と予想するのが楽しかったです。一目見て誰のかが分かるものもあれば、意外な好みに驚かされたものもありました。この帽子を被ってアリーナに入場する6年生の姿を、今から心待ちにしています。



## 「好き」なことで学びをつなぐ ～異学年交流学習～



「ここをこうすると、こんなふう  
に動くんだよ」

6年生がタブレットの画面を操作すると、隣に表示されているキャラクターの動きが変わりました。

それを見た1年生が「うわーっ」と歓声を上げます。

毎年、6年生のはばたき学習で、最後の単元は異学年同学級の学習交流です。

プログラミングチームの6年生は、得意とするメンバーが1年生向けの教材を自分たちで作成して活動しました。

画面を食い入るように見つめる1年生の心の中に、たくさんの夢や希望が膨らんで、いつかこの6年生を越えるアイデアをタブレット上に実現できたら、この日のこの一瞬の意義が光り輝くに違いありません。

けん玉チームの6年生は、各教科の学習をけん玉しばりて出題するという、ユニークな発想で1年生を楽しませました。「とうだい（灯台）」「けん（剣）」など、技や部位に関する漢字の問題や、連続技の一つである「もしかめ」を英語にして歌うなど、楽しく各教科の学びを進められる工夫の数々に感心させられました。

卒業間際の6年生によって毎年行われる授業ですが、今年は特に6年生の「好き」がいっぱいに溢れている学習でした。自分のこだわりや好きなことを日々の学びの中で実現していくことこそ、独創性や創造性を育む最高の手立てなのだということを、この6年生の姿から学んだ時間でした。後輩たちが、この姿を覚えて受け継いでほしいと切に願います。



## 合唱部またまた快挙！

今年度最後のコンクール出場で、合唱部がまた快挙を成し遂げました。1月に開催された第38回AKITAヴォーカルアンサンブルコンクールにおいて、5年生チームと6年生チームがそろって金賞を受賞。オープン参加の4年生も奨励賞をいただきました。6年生チームは、3月に福島市で開催される全国大会に推薦され、出場することが決まりました。おめでとうございます。

